令和３年度　No. ４

駒岡小学校だより　７月号

梅雨におすすめの本

校長　中山　正之

梅雨の続く中、蒸し暑さが日ごとに増してきました。１学期も残すところ三週間あまりです。感染症対策が続く毎日ですが、本校では今年度の水泳学習を、予防のため６年生のみの実施といたしました。他の学年の保護者の皆様には、どうかご理解いただきますようお願いいたします。来年度は、ぜひ全学年で実施したいと思います。

学校では感染症予防とともに、夏の熱中症予防にも取り組んでいます。その対策として、体育の授業の際に、運動時にマスクを外すように声をかけ、用具の片付けや運動を行わないときは着用することを指導しています。こまめな水分補給や日陰での休憩も適宜取り入れるようにしています。また、登下校においても息苦しさを感じるときには無理をせず、人から離れマスクを外しても良いとしています。これから始まる本格的な暑さに備え、子ども達の健康をしっかりと守っていきたいと思います。ご家庭でのお声かけもよろしくお願いいたします。

ところで、梅雨の時期は室内で過ごす時間が増えます。この機会を生かして、子ども達には本にたくさん接してほしいと思っています。もう４年前になりますが、副校長のときに絵本作家のかこさとしさんの「ピラミッド　その歴史と科学」という科学絵本を学校だよりで紹介したことがあります。かこさとしさんは「だるまちゃんとてんぐちゃん」や「からすのパンやさん」のような素朴で温かみのある絵本の作家として大変有名です。また一方で工学博士としても知られ、「川」、「富士山大ばくはつ」、「万里の長城」といった科学絵本の著作もたくさんあります。その一つである「ピラミッド」を読んでほしいおすすめの本として紹介し、その後学校図書館にも置いてもらいました。その翌年の５月、かこさとしさんは９２歳でお亡くなりになられました。今回、久し振りにおすすめの本を紹介しようと考えたとき、浮かんだのがかこさんの最後の作品となった絵本です。題名を「みずとはなんじゃ？」といいます。

「みずとはなんじゃ？」はその名の通り、水のお話です。本を開くと文章はほぼすべてひらがなで、絵もかわいらしく、一見これは低学年向けかなと思います。ところが、読み進めていくにつれてその内容の豊かさに驚かされます。わずか３２ページなのですが、最後のページにたどり着くと思わず「うーん、すごい。」とうなってしまいます。かこさんは亡くなる直前までこの本の製作に携わり、ご自身で完成させられなかった絵の部分を、同じ絵本作家の鈴木まもるさんに託したのだそうです。子ども達に伝えたかったかこさんの思いが、読む人々に深く伝わってくる素晴らしい絵本です。親しみやすく分かりやすいので、低中学年の子ども達はもちろん、最近よく話題になる SDGs（持続可能な開発目標）について考えるヒントを与えてくれる点では、高学年にも強く勧めたい一冊です。もしお子さんが借りてきたときには保護者の皆様もぜひ一緒に読んでほしいと思います。雨の多いこの時期だからこそ、水の大切さを考えることができる、とても良い機会になるはずです。